

国保の国負担増額を求める意見書

全会一致で可決！

9月18日の別府市議会最終日、猿渡（えんど）久子市議が提案者となつて提出した「国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書」が全会一致で可決されました。

二十年ぶりに画期的な可決

別府市議会では、日本共産党議員団が提出した意見書が採択されたのは、1988年に国民健康保険の改悪に反対する意見書が賛成多数で採択され、翌1989年、被爆者援護法の制定を求める意見書が全会一致で可決されました。

今回全会一致で可決され、他会派の議員から日々に「画期的だ」という言葉が聞かれました。

日本共産党議員団が提出した意見書が採択されたのは、1988年に国民健康保険の改悪に反対する意見書が賛成多数で採択され、翌1989年、被爆者援護法の制定を求める意見書が全会一致で可決されて以来、20年ぶりです。

25%あまりが国保滞納

昨年度の大幅値上げで、2008年度の国保加入世帯（2万2845世帯）に占める滞納世帯は5650世帯（45世帯）に占める滞納世帯は5650世帯（24・7%）にものぼります。市民の声に押され、09年度は若干引き下げたものの所得がなくとも最低で1万8400円の国保税がかかります。



エンシュウツリフネソウ

えんど久子HP
<http://www.happyendo.net/>

毎回の議会で引き下げ求める

9月議会でもえんど

久子市議は、国保税の引き下げを求め、市は「国保税の税率改定について」は毎年検証し内閣協議をしなければならない」と答弁。

えんど市議は「この減免を来年度以降も継続するよう国への働きかけを求め、「九州都市国保研究協議会を通じ要請している」と答弁がありました。

市民世論が議会を動かした

昨年、国保をよくする別府の会のみなさんは国保税の引き下げなどを求める署名活動に取り組みました。この

ような市民の運動と世論が議会を動かしたもののです。

この議会報告は、政務調査費で作成しています。みなさんのご意見ご要望などをお寄せ下さい。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.397
2009.9.23.

温泉はまちづくりの基本 と市長答弁

近鉄跡地マンションまた延期

猿渡（えんど）久子市議は、駅前の近鉄デパート跡地の複合マンション建設問題など、まちづくりの問題で質問。

えんどう市議が、「『今年5月か6月頃着工予定』が6月議会では『秋口に

着工』に延期になつていて、まだ建築確認申請が出ていないので、秋口とか10月着工はありえない」と答弁。

中活基本計画の実行めど立たず

えんどう市議は、「中

心市街地活性化基本計画の期限まであと3年

半で計画を完了しなけ

ればならない。オンパ

クタウン・シネコン・

歩道橋など中活計画の

中核的な民間事業はど

れも目処が立つていな

い。大丈夫なのか。マ

ンション計画は不透明

で、ダメになつた時に

どうするのか内部協議

が必要」と、市長答弁を重ねて求めました。

浜田市長は、「開発業者は規模を縮小してま

でがんばっている。後

ろ向きの論議はすべき

ではない」と答弁。



イヨフウロ

温泉文化が息づく暮らしのまち

えんどう市議は「前向きに腹案を持つておくべきだといつていて」と述べた上で、中心市街地活性化基本計画のビジョン

「温泉文化が息づく暮らしのまち」をすすめるためにはどうするのか質問。

日本共産党議員団は、

共同温泉など別府の財産をもつと活かしたまちづくりが大事だと主張してきました。えんどう市議は、「このビジョンを実現す

るためには市長のリーダーシップをもつとつともと発揮してもらいたい」と市長の考えを問いました。

温泉文化を守り育てる答弁

浜田博市長は、「温泉施設を守り育てていくことは、本市のまちづくりの基本である。海門寺温泉の建てかえのように、必要に応じて地域に根ざしました。



キツリフネソウ